

北海道洞爺湖サミットで家庭用燃料電池体験コーナーを設置
～当社の技術・環境への取り組みを世界に発信～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、7月7日から9日までの3日間開催される「北海道洞爺湖サミット」において、国際メディアセンター(IMC)に隣接する形で経済産業省が設置する近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」内の体験コーナーで、2台の家庭用燃料電池システムを設置・運転することとなりましたので、お知らせいたします。

「ゼロエミッションハウス」は、家庭用燃料電池システムや太陽光発電システム、最先端ロボットなど最新技術を備えた住宅で、国内外の報道関係者等に対して世界最高水準のエネルギー・環境技術を展示するものです。

ゼロエミッションハウスに設置される3台の家庭用燃料電池システムのうち、当社は、株式会社ENEOSセルテック(社長:一色 誠一)と共同開発した「LPガス仕様」燃料電池および、株式会社荏原製作所(社長:矢後 夏之助)、荏原バロード株式会社(社長:大矢 正克)と共同開発した「灯油仕様」燃料電池の2台のシステムを稼働させます。家庭用燃料電池システムで発電した電気は、照明などの電力の一部を賄い、同時に作られたお湯はゼロエミッションハウスの一角に設けられた「足湯」コーナーに利用されます。

電気と熱を供給する「コージェネレーションシステム」として利用される家庭用燃料電池は、世界に先駆けて2009年度から国内市場向けに本格販売が開始される予定であり、「ゼロエミッションハウス」への設置を通じて、国内外の報道関係者等に対して当社の技術力および環境への積極的な取り組みを伝えていきたいと考えております。

記

【ゼロエミッションハウス施設内、家庭用燃料電池実機運転コーナー(足湯)の概要】

主催: 経済産業省
共催: (独)産業技術総合研究所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(財)新エネルギー財団
所在地: 北海道虻田郡留寿都村字泉川13番地(ルスツリゾート駐車場)
完成日: 6月末予定
展示機器等: ・家庭用燃料電池システム(LPガス仕様、灯油仕様、都市ガス仕様)
・足湯体験施設

以上